

気分はブラック・ジャック

## 中学生が模擬手術

製鉄記念  
室蘭病院

医師の指導受け

「ブラック・ジャックセミナー」（製鉄記念室蘭病院、ジョンソン・エンド・ジョンソン共催）が22日、室蘭市知利別町の同院で開かれ、中学生たちが手術などの模擬体験に挑戦した。子どもたちに医療に関心を持ってもらおうと、ジョンソン・エンド・ジョンソンが2005年（平成17年）から全国で実施。同院では13年以來2回目となる。

この日は室蘭、登別の男女中学生20人が参加。仙丸直人副院長ら同院の医師8人が指導に当たった。手術模擬体験では、自動縫合装置で虫垂に見立てたスポンジを縫合・切断。また、鶏肉の一部を超音波凝固切開装置で切り取った。

室蘭市桜蘭中1年の坂多悠翔君は「小さいときから入院を繰り返し、お医者さんのお世話になりました

た。自分も人の役に立ちたいと思い、医師を目指しています」と夢を膨らませていた。  
（山田晃司）



超音波凝固切開装置を使った鶏肉の切除体験を行う中学生たち